量子生物化学公開セミナー

セミナーを企画致しました。関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

タイトル：水のポリアモルフィズムから見た水溶液の溶媒状態

講演者：鈴木 芳治氏 (物質・材料研究機構)

場所：九州大学大学院 理学研究院 B棟3階 B314

日時：2023年3月27日(月) 14:00~15:00+α

要旨：最近の過冷却水やガラス状態の水の研究から、水には低温に密度の異なる2つの液体状態が存在し（水のポリアモルフィズム）、圧力や温度の変化により互いに相転移（ポリアモルフィック転移）することが分かってきた。本研究では、物質が水に添加された時に物質が水のポリアモルフィックな振る舞いに及ぼす影響を調べるため、溶質が均一に分散した低濃度水溶液ガラスを作り、低温-高圧領域での水溶液のポリアモルフィックな挙動を観測した。本講演では、ポリオール水溶液の溶媒状態を水のポリアモルフィズムの観点から考察した結果を紹介する。また、トレハロース水溶液を用いて、圧力変化による可逆な液-液転移を直接観測した結果についても紹介する。

連絡先：九州大学大学院理学研究院化学部門

量子生物化学研究室

秋山良

rakiyama(アットマーク)chem.kyushu-univ.jp